

令和2年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市文化センター、岐阜市民会館)	所管課	ぎふ魅力づくり推進部 文化芸術課
所在地	【文化センター】岐阜市金町5丁目7番地2 【岐阜市民会館】岐阜市美江寺町2丁目6番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	340,594,629円(当初) 323,902,472円(精算後)		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	【文化センター】催し広場1、小劇場1、練習室1、展示室1、会議室2、音楽室1、音楽スタジオ1、録音室1、美術工芸室2、和室2 【市民会館】ホール1、展示ギャラリー1、会議室2、多目的ルーム2、練習スタジオ1、和室1		

●利用状況

文化センター		R2下半期	R2上半期	R1下半期	R1上半期	H30下半期
利用者数(単位:人)		32,640	9,352	57,727	63,334	79,478
各室稼働状況(%)	催し広場	30.5 %	13.4%	42.2%	29.8%	41.7%
	小劇場	37.2 %	7.8%	47.8%	37.0%	49.2%
	練習室	34.4 %	17.8%	36.4%	41.8%	45.1%
	展示室	39.9 %	17.5%	36.4%	35.9%	36.2%
	会議室	28.2 %	18.0%	45.0%	42.3%	50.9%
	音楽関係室	14.3 %	10.6%	32.3%	32.7%	41.8%
	美術工芸室	20.4 %	19.0%	27.6%	30.1%	41.4%
	和室	15.1 %	4.5%	14.0%	15.2%	23.3%

市民会館		R2下半期	R2上半期	R1下半期	R1上半期	H30下半期
利用者数(単位:人)		21,642	11,437	51,197	65,361	63,539
各室稼働状況(%)	大ホール	29.6%	10.3%	34.1%	27.0%	48.1%
	展示ギャラリー	18.7%	11.2%	28.8%	36.0%	39.0%
	会議室80	17.7%	13.9%	21.2%	24.0%	22.7%
	会議室48	25.5%	16.2%	28.2%	35.1%	37.0%
	多目的ルームA	19.4%	14.0%	20.4%	40.2%	34.6%
	多目的ルームB	22.5%	13.2%	24.7%	36.3%	41.1%
	練習スタジオ	27.5%	12.3%	25.6%	34.6%	34.1%
	和室	26.5%	16.4%	20.7%	21.7%	23.4%

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聴くためのアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守されており、適切な運用が行われている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページや広報誌、独自に隔月に発行する催し物案内等を活用した広報活動を実施している。 ④来館者に対しアンケートボックスを設置している。また、利用者に向けてアンケートを配布、実施する期間を設けており積極的に意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。

自主事業・共催事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(琴)&出前講座(能楽) ③第42回ぎふアジア映画祭 ④市民スタッフ事業 ⑤第28回・29回市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ⑥ぎふ演劇ワークショップ2020 ⑦岐阜市中学校美術作品展2020 ⑧公共ホール現代ダンス活性化事業 ⑨戯曲セミナー&リーディング発表会 ⑩→Pia-no-jaC←LIVE ⑪市民スタッフ育成事業	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・1月17日(日) 第13回ぎふジャズフェスティバル 290人 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(琴)&出前講座(能楽) ・2月25日(金) 能楽出前講座 市橋小学校 136人 ③第42回ぎふアジア映画祭 ・11月22日(日)～12月6日(日) 833人 ④市民スタッフ事業 ・11月3日(火・祝) チャレンジ企画 96人 ・12月12日(土) ぎふ文化センター寄席 223人 ⑤第28回・29回市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ・1月20日(水) 第29回審査会実施 ⑥ぎふ演劇ワークショップ2020 ・【一般対象】令和3年2月13日(土)・14日(日)※中止 ・【中学生対象】令和3年3月13日(土)・14日(日)・20日(土) ⑦岐阜市中学校美術作品展2020 ・毎月市内中学校2校の展示 ⑧公共ホール現代ダンス活性化事業 ・10月21日(水)～24日(土)※中止 ⑨戯曲セミナー&リーディング発表会 ・2月6日(土) 第15回優秀短編発表会 128人 ⑩→Pia-no-jaC←LIVE ・3月6日(土) 203人 ⑪市民スタッフ育成事業 ・10月3日(土) 全体会
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤各種点検業務	①日常清掃、定期清掃を実施。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日常清掃時に手すり、ドアノブ等の消毒を実施している。 ②巡視・点検を随時行い、適切に管理している。 ③受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助について計画通り実施している。 ④貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施している。 ⑤実施計画に基づき、順次実施している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	日常業務の中で施設の状況を把握し、適切な修繕を実施している。 【文化センター】 ・泡消火設備用仕切弁他取替修繕 ・催し広場控室地下トイレほか自動水栓取付修繕 他 【市民会館】 ・大ホール上手控室カーテン取替修繕 ・エレベーター地震管制装置取替修繕 他
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①条例等を遵守し、適切に対応した。また、マイナンバーの取扱いについて、特定個人情報保護規定を作成・運用している。 ②独自の危機管理マニュアルを定め、消防・防災訓練等を計画的に実施している。また、普通救命講習の受講など、緊急時に迅速に対応できるよう努めている。 ③関係法令を遵守した運営が行われている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	【文化センター】 ・2月1日～3月15日までの施設利用者にアンケートを実施、催し広場、小劇場利用者には通年でアンケートを行うなど計画的に取り組んでいます。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(受付カウンター)に設置しています。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を聞きとり、改善に努めています。 【市民会館】 ・12月5日～2月5日までの施設利用者にアンケートを実施、大ホール利用者には通年でアンケートを行うなど計画的に取り組みました。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(1階東棟ロビー)に設置しています。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を聞きとり、改善に努めています。
利用者アンケートの実施結果	【文化センター】 「今後も利用したい」の項目で95%の利用者が「はい」と回答しており、満足度の項目はいずれも「非常に良い」「良い」がおおよそ8割の評価でした。ご意見を記入する項目では「いつもありがたく利用させて頂いております」「今後ともよろしくお願いします」などリピーターを中心に多くの利用者に快適にご利用いただいております。 【市民会館】 「今後も利用したい」の項目で94%の利用者が「はい」と回答しており、満足度の項目はいずれも「非常に良い」「良い」がおおよそ8割を超える評価でした。ご意見を記入する項目では「いろいろ無理をお聞きいただきました。今後ともよろしくお願いします」「気持ちよく利用させて頂いております」などリピーターを中心に多くの利用者に快適にご利用いただいております。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	【文化センター】 ・各部屋にアルコール消毒液があると良い。 →各階エントランスに消毒液が設置してある事と、ご利用においては、チェックシートをご確認の上、利用者様でご用意いただくことをご理解いただきました。 ・エアコンの効きが悪い気がします。 →新型コロナウイルス感染症対策として常時扉を開けてのご利用でしたが、エアコンは外気を取り込む仕様になっているため、扉を閉めた状態でも換気が行われること、また、常時開放でなくても、貸出ししている二酸化炭素濃度測定器の数値を目安に適宜扉を開けていただくことで換気できることをご説明しました。 ・小劇場で有料コンサートを行う予定だが、来場者数について市の要請によっては、1回(夜間区分のみ)のコンサートを2回(午後・夜間)に分けることも想定している。その場合市の要請に応じてコンサートを分けるのだから、両区分とも加算対象になるのは承服できない。 →岐阜市文化会館は条例・規則に則って運営されているため、例外的な対応は出来かねる旨ご説明し、ご理解いただきました。ただし、来場者数の制限や時短要請があった場合の割引については、他利用団体からも要望がありますので、その旨岐阜市へもお伝えしていきます。 【市民会館】 ・(会議室80利用者より)プロジェクターを新しくしてほしい。 →来年度各室のプロジェクターを1台新規購入する予定です。 ・(各室利用者より)ホワイトボードマーカーの太字タイプを用意してほしい。 →次回ご利用時にお貸し出しできるよう準備しました。 ・(各室利用者より)FAX料金が高いので安くしてほしい。 →FAX料金については一般的な料金を考慮して設定しておりますが、再度検討します。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・条例等に基づいた管理運営が適正に行われているか。また、そのためのモニタリングは実施されているか。	A	A	A
		個人情報の保護等	・個人情報の保護についての管理対策は適切に実施されているか。	A	S	S
		広報の方策	・平等利用のための適切な広報活動ができているか。	A	A	A
		情報公開	・市の情報公開制度に基づき適切に実施されているか。また、理解しているか。	S	A	A
	区 分 評 価					A
効果性	対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮されること	事業計画の履行状況	・実施計画どおりに事業が実施されたか。また、計画どおりの成果があったか。	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか。	A	S	S
		指定事業・自主事業(共催事業)の内容	・施設の設置目的にあった事業となっているか。成果があったか。指定管理者の有する人材・ネットワーク・経験を活かすことができたか。	A	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制	・利用者ニーズ等を把握するために、アンケート調査等を実施しているか。また、寄せられた意見に対しては、適切に対応しているか。運営に反映しているか。	S	A	A
	利用促進、利用者増の方策	・積極的な広告宣伝の実施により、利用者の拡大を図っているか。	A	A	A	
区 分 評 価					A	
効率性	管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の縮減が図られているか。	A	A	A
		予算執行の適正	・適正に執行しているか。また、不要な予算の執行をしていないか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	S	S	S
	区 分 評 価					A
安定性 安全性	管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・各分野での専門知識、経歴や資格を有するスタッフを配置しているか。	S	S	S
		職員の管理・人材育成の方策	・職員の管理は適切に行われているか。また、人材の育成体制は整備され、適切に実施されているか。	S	S	S
		緊急時の対応	・事故、災害等緊急時の対策、対応は適切か。また、防犯に対する対策は適切か。	A	A	A
		グループ応募(コンソーシアム)の場合、グループの安定性	・コンソーシアムの構成団体本体の経営基盤は安定しており、リスクに対応する十分な体制が整備されているとともに十分な対応がとられているか。また、コンソーシアム内の連携が取られているか。			
	施設の管理	・施設の保守、点検等適切に実施しているか。	A	A	A	
区 分 評 価					A	
貢献性	岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献してるか	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・業務の再委託先は、原則、地元業者の中から採用しているか。	S	S	S
		その他地元への貢献に関すること	・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか。	A	A	A
	区 分 評 価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	1. 貸館業務 令和2年度下半期において、昨年度比で文化センターの施設使用料が約220万円の減少、市民会館が約470万円の減少となりました。これは新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による収容人数の制限や緊急事態宣言の発令、夜間の利用時間が20時まで制限されたことなどが要因となり多くの予約が取り消しになったこと、コロナ禍で利用者の多くが引き続き活動を自粛されていたことが主な要因です。 施設利用者に対する新型コロナウイルス感染症対策の説明については、ご利用いただく際に新型コロナウイルス感染症対策チェックシートを提出いただき、手指消毒や咳エチケットの励行を呼び掛けに行っています。感染状況の変化に伴う変更取消や日程変更の相談にも丁寧に応じ、コミュニケーションを欠かさず適切なサポートを行い利用の確保に努めています。施設内には、自動式手指消毒器や二酸化炭素濃度測定器を設置したり来場者に岐阜県感染警戒QRシステムやCOCOAの積極的な利用を促しました。また来場者の多い施設については、サーモグラフィーカメラや非接触体温計の貸出なども行いました。さらにコロナ禍においても、主催者の要望や不安を聞きとり、施設管理者として実施する感染防止策と主催者の責任で実施いただくことを明確にし、互いに連携することで施設利用者が安心、安全にご利用いただけるよう努めました。 2. 利用者・来館者への情報提供 ①新型コロナウイルス感染症対策について岐阜市の指針に基づいて利用者や来館者に周知徹底を図り、また適宜見直される利用条件についてもホームページのみだけでなく利用者へ電話等により丁寧な説明を行うなど感染対策に努めました。 ②国や自治体実施する助成金等の支援事業について、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い影響を受けた文化芸術団体の皆様に向け、ホームページへの掲載を始め窓口や郵送で積極的にご案内しました。 ③主催事業公演における新型コロナウイルス感染症の拡大防止への取り組みとご来場の皆様へのお願い、チケット代の払い戻しの条件や方法等をホームページやチラシを使って積極的に案内し、感染対策に努めました。 ④ご来館いただく際の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について、ホームページに掲載しました。 3. 施設・設備の点検・修繕 施設管理の経験豊富なスタッフが関係部署と協力体制を構築しています。文化センターでは街並みギャラリー壁張替修繕や4階茶室付和室ほかサッシ網戸取付修繕などを実施、市民会館では練習スタジオ蛍光灯修繕やエレベーター地震管制装置取替修繕など、先を見越した修繕や利用者の安全及び利便性に繋がる修繕を適切かつ効率的に実施することができました。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、催し広場控室地下トイレほか自動水栓取付修繕、洋式トイレ便座用除菌器取付修繕を実施しました。 4. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献 ①「楽市JAZZ楽団」事業では、コロナ禍における舞台芸術の模範となるべく、出演者、来場者ともに感染症対策を徹底して「ぎふジャズフェスティバル」を開催しました。また、公演の様子を編集してYouTube、ケーブルテレビでも配信、放送するなど、多くの方に楽団の演奏を観ていただく機会を提供できました。 ②「子ども伝統文化体験教室・発表会&出前講座」では、能楽出前講座として小学校へアウトリーチを実施しました。児童の入場時に検温を行い、楽器体験の際には距離をとったうえ、体験の前後で手指消毒を行う等、感染症対策を徹底することで、子どもたちが伝統文化に触れる貴重な機会を提供することができました。 ③「第42回ぎふアジア映画祭」では、感染症対策のためチケットの販売方法を変更し、11月22日(日)から12月6日(日)の短期間で、アジアの映画6作品を上映するとともに、台湾の人形劇がテーマの映画と併せて地元の伝統文化である真桑人形浄瑠璃を紹介する特別企画を実施しました。 ④「市民スタッフ事業」では、感染症対策のため、「チャレンジ企画」では整理券、「ぎふ文化センター寄席」では全指定席としました。「チャレンジ企画」では地元の岐阜大学落語研究会を招き、地元の学生囃家を紹介する機会を提供しました。また、「ぎふ文化センター寄席」として、落語を元にした短編アニメーションの上映と、岐阜市出身の落語家昔昔亭A太郎の落語、浪曲師玉川奈々福による浪曲が楽しめる独自性のあるイベントを開催しました。 ⑤「第29回市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉」では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて採択事業の延期等の対応について明確化しました。また、審査会では一部の審査員をリモート参加として実施し、1団体を採択しました。 ⑥「ぎふ演劇ワークショップ」では、NPO法人岐阜県演劇協会との共催で中学生を対象とするワークショップを開催しましたが、感染症対策を徹底するため、他校との接触を避けるよう入れ替え制とし、時間を短縮しての実施となりました。学生にとって部活動では得難い舞台での経験やプロによる指導の機会を提供することができ、演技、舞台創造への関心を高める良い機会とすることができました。 ⑦「岐阜市中学校美術作品展」では、地域の文化である大風呂や「岐阜の土産品」を題材にしたマイバッグなど、各校で特色のある作品の展示を実施しました。 ⑧「戯曲セミナー&リーディング発表会」では、来場者の連絡先把握及び来場者数管理のため、発表会を申込制として整理券を発行する等感染症対策を講じ、大きなトラブルもなく実施しました。受講生の作品の中から優秀作品を選出し、優秀短編発表会をリーディング形式で開催することで、岐阜の演劇文化の発展に貢献しました。 ⑨「→Pia-no-jaC← LIVE」では、他事業の事例を再検証して感染症対策を徹底することで、安心して公演を楽しんでいたことができました。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	上半期は、「コロナ禍の状況に合わせた管理運営、環境整備」についてご評価いただきました。下半期においても、洗面台の自動水洗化や網戸の設置を引き続き行い、自動式手指消毒器や二酸化炭素濃度測定器を導入する等、感染予防対策を徹底し、安心してご利用いただけるよう適正な管理運営に努めています。 また、「周辺市町の施設等で行われている歌謡をはじめとする各種イベントの実施」についてもご意見をいただきました。下半期には、市民の劇場として「アジア映画祭」「市民スタッフ事業:ぎふ文化センター寄席」「ぎふジャズフェスティバル」、市民ふれあい事業として「戯曲セミナー優秀短編発表会」「→Pia-no-jaC←LIVE」といった様々なジャンルの事業を感染症対策を徹底したうえで実施し、コロナ禍においても市民の皆様文化芸術の鑑賞機会を提供することができました。

今後の取組み	これまでの取組状況を踏まえ、より一層の利便性の向上及びホスピタリティの向上に努めていきます。具体的には次の通りです。 1. 新たな利用者の開拓とリピーターの確保に努めます。 【文化センター】 新型コロナウイルス感染症の影響で通常より広い会場を希望されることも多いため、利用方法や感染症対策等を丁寧にご案内し、安心して施設を利用いただくことで、今後の利用の定着を図ります。また、上半期に予定している利用相談会の際にも、コロナ禍における施設の活用方法を提案することで、新規利用者の獲得を目指します。 【市民会館】 新型コロナウイルス感染症の影響により、定期的に利用していた団体が活動を見合わせていたり展示会での利用などが減少しましたが、新たに利用いただけた団体もあり利用日数が伸びた各室もあります。また、多くの人が集まるホールの催事は中止や延期が続いていますが、感染症対策を徹底しながら施設の特性を生かした利用方法を提案し、利用相談会などを活用して稼働率の向上に努めます。 2. 利用者への情報提供に努めます。 ①利用者や来館者及びスタッフの感染症予防に努めるとともに、利用打合せの際などに感染のリスク低減を図るための施策を徹底していきます。 ②依然として新型コロナウイルス感染症の収束が予測できない状態にあるため、今後も利用制限の変更などがあれば利用者に告知し、適切で丁寧なサポートを行っていきます。 ③文化会館ではSNS(Twitter、Facebook)のアカウントを開設しました。令和3年度より運用を開始し、催し物案内やチラシ等の紙面でのPRのみではなく、SNSでのPRにも取り組みます。 3. 施設・設備の点検・修繕・省エネに努めます。 文化センターは開館から36年、市民会館は53年が経過し、施設や設備の不具合が増えてきています。長期的な改修計画を岐阜市に提案するとともに、利用者が快適にご使用いただけるように故障や不具合の早期発見を心掛け、迅速な修繕をいたします。また、気候の急な変動など冷暖房需要が高まった場合や燃料費の高騰などにも対応できるように、省エネマニュアルに沿って、光熱水料費の節約に努めます。 4. 新型コロナウイルス感染症対策を継続して実施します。 施設や備品の消毒・特別清掃、消毒液の設置など新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、利用者に安心・安全にご利用いただけるよう対応します。また、来場者のご意見やアンケートにご意見をいただいた際は迅速に対応するよう努めます。 新型コロナウイルス感染症対策について、岐阜市との連携を密にすることで迅速に対応し、利用者への的確な情報提供に努め、自主事業においても適切に情報共有して判断します。万一、職員や利用者・来館者の感染が判明した場合、速やかに適切な対応がとれるようマニュアルを適宜更新していきます。 5. 市民の劇場・市民ふれあい事業 ①「楽市JAZZ楽団」事業では、4月に団員の募集を行い、5月にオーディションを行います。また、学校出前コンサートや、第14回ぎふジャズフェスティバルの実施に向けて準備していきます。 ②「子ども伝統文化体験教室・発表会(琴)&出前講座(能楽)」では、7月の体験教室・発表会に向けて、参加者の募集や講師との打ち合わせなど実施に向けて準備していきます。 ③「音楽の絵本 プリランテ」では、9月の公演実施に向けて、準備とPR活動を行っていきます。 ④「第43回ぎふアジア映画祭」では、10月からの開催に向けて市民スタッフとともに企画会議を実施し、作品の選定や特別企画を検討していきます。 ⑤「市民スタッフ事業」では、市民スタッフとともに月1～2回の企画会議を実施し、企画を検討していきます。 ⑥「第30回市民プロデュース公演応援プロジェクト<公募>」では、企画募集を6月から実施し、審査会を7月に開催します。また、5月と8月に実施する採択事業のPR活動、当日実施に向けての支援をしています。 ⑦「ぎふ演劇ワークショップ」では、5月に高校生の部、7月に中学生の部を実施します。 ⑧「岐阜市中学校美術作品展2021」では、4月から1か月単位で市内中学校2校による共同展示を実施します。 ⑨「公共ホール現代ダンス活性化事業」では、11月の実施に向け、共催者の地域創造、派遣アーティスト、コーディネーターと連携して、アウトリーチ先の現地下見、打合せの準備及び公募ワークショップの準備を進めています。 ⑩「戯曲セミナー&リーディング発表会」では、5月から受講生の募集を行い、7月からの講座実施に向け準備していきます。 ⑪「市民スタッフ育成事業」では、市民スタッフの活動に活かせる、講師研修や出張研修の準備を進めています。 ⑫「グランドピアノ練習支援事業」は、7月に市民会館大ホール、8月に文化センター小劇場と市民会館大ホールで実施します。
---------------	---

●所管課の意見

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度下半期においても、収容人数や開館時間などの制限があったが、各種マニュアルの作成、施設内の環境整備に努めるなど、感染症予防対策にかかる適切な対応がなされており、利用者の回復に向けた運営管理が行われている。

自主事業の実施にあたっては、運営スタッフ及び来場者の検温、消毒の徹底などに加え、感染症を考慮して参加を自粛する方に対し、チケット代金払い戻しを行い、来場できない人に対しては、地元ケーブルテレビと動画サイトにて映像配信を行うなど、例年とは異なる状況であったがトラブルなく、無事にイベントを開催することができた。また、利用者から感染症対策に関する要望や相談が多数寄せられており、その要望に基づいた感染症予防にかかる備品の導入や自主事業を開催した実績に基づいて主催者に対しアドバイスをを行うなど、きめ細やかなサービスの提供ができています点について高く評価する。

文化に関わるイベントが中止や延期となる深刻な状況下において、市の文化振興の重要な役割を担っており、今後も状況に合わせたきめ細やかな運営管理に期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、自主事業や各種イベントを実施したことは評価できる。

今後も、状況に合わせたきめ細やかな運営管理を継続し、利用者数の回復に努められたい。